

消防千葉

2023 No.600 令和5年12月号

目次

巻頭言 (流山市消防本部消防長)	2
第25回全国女性消防操法大会	3・4
第59回消防殉職者慰霊祭	5・6
令和5年度「全国女性防火クラブの集い」	7
第28回全国女性消防団員活性化石川大会	8
わが町の消防団 (市川市消防団)	9
わが町の消防団 (九十九里町消防団)	10
東西南北	11～13
日々の動き	14



月の沙漠記念館 (御宿町) 夷隅支部

巻 頭 言

「飛 躍」

流山市消防本部 消防長 須藤 恭成



流山市は、千葉県北西部に位置し東は柏市、南は松戸市、北は野田市、西は江戸川を隔て埼玉県三郷市と吉川市に接しており、首都圏北東部にあたり、都心から25km圏に位置しています。人口約21万1千人（10月1日現在）東西7.96km、南北10.36km、周囲41km、面積は35.32kmからなる水と緑の豊かな自然が息づく住宅文化都市です。平成17年8月24日にはつくばエクスプレスが開通し東京都心方面へのアクセスが大幅に向上したことで、ベッドタウンとして開発が進みおたかの森駅周辺は、大型の商業施設が立ち並ぶなどとても住みやすく魅力ある街となっています。

本市は、「母になるなら流山市・父になるなら流山市」をキャッチフレーズに、子育て支援や教育環境の充実に力を注いでおり人口増加率は6年連続全国1位となっております。豊かな自然や歴史・文化を生かし、市民が真の豊かさを実感できる街「みんなでつくろう価値ある流山」を将来都市像として総合計画を策定し、市民が愛着と誇りを持てる街づくりを目指しています。

流山市消防本部は、昭和41年4月1日水槽付ポンプ車1台、職員数15名にて発足、その後市の発展とともに建築物及び人口の増加に伴う消防署所の増設、職員数の増員を図り現在は1本部3課・4消防署、職員数211名で市民が安心・安全に暮らせる街を目指して、消防業務遂行に努めているところです。

本市の消防行政は、人口増加に伴い市民の安心安全を守るため、令和2年度に救急隊1隊を増隊、令和7年度には救急隊を更に1隊増隊し、救急隊7隊体制を目標とし、救急業務の高度化及び救急出動件数の増加に対応した救急体制の構築を目指しております。

また、首都直下型地震や大規模災害等発生時に対応するため無人航空機の運用を令和5年10月より開始いたしました。

現消防本部庁舎は昭和49年5月に建設され、施設、設備の老朽化や狭隘化が進んだことから、市中心部を移転先として現在建築中です。この庁舎は、高層階での訓練を想定した訓練棟や大規模災害発生時の対策本部室の機能を有す多目的室を設置し、消防力の充実・強化を図り令和7年4月に運用開始予定となっております。

これらの施設、装備を整備するとともに、令和3年4月1日の消防長就任後、市民サービスの向上を目指した組織強化と人材育成のための理念として「協調・協力・協働」の3点を掲げたところであります。

この理念に沿って一人ひとりが目的意識を持ち、市民・職員から信頼され、愛され、期待される存在であり、風通しの良い職場づくりに努めていきたいと考えております。

第25回 全国女性消防操法大会の開催

令和5年10月21日（土）、第25回全国女性消防操法大会が消防庁と公益財団法人日本消防協会の主催により東京都臨海広域防災公園にて開催されました。

大会は、新型コロナウイルス感染症の影響で4年振りの開催になりましたが、晴天の中全国各都道府県の代表として選ばれた女性消防隊44チームが出場して、日頃の訓練の成果を競い合い、女性消防隊の消防技術向上と士気の高揚を図りました。



9時から選手団が入場し、開会宣言の後、国旗掲揚、前回大会優勝隊の熊本県八代市本部女性消防隊からの優勝旗返還の後、鈴木総務大臣及び秋本日本消防協会長の主催者挨拶が行われました。その後、全国消防長会会長等からの祝辞、東京都知事による歓迎の辞、八代市本部女性消防隊隊長の選手宣誓が行われ、9時50分から1コース（本部席側）と2コース（スタンド席側）に分かれて操法競技が開始されました。

千葉県からは、館山市女性消防隊が第1コースの11番目で出場しました。



鈴木総務大臣、秋本会長の挨拶



館山市女性消防隊の操法演技



スタンド及び一般席には、館山市長や千葉県消防協会長、千葉県防災危機管理部次長、消防課長、千葉県消防学校長並びに館山市をはじめ市川市、柏市、流山市、浦安市、佐倉市、四街道市、香取市、山武市、君津市、袖ヶ浦など大勢の応援団が来場して、演技を見守りました。

操法終了後、14時50分から優勝1、準優勝2、優秀賞3、優良賞6チーム、優秀選手10名の審査結果（別表参照）が審査長から発表され、館山市女性消防隊は、日々の訓練の成果を発揮し第8位となり優良賞を受賞しました。

なお、優勝した八代市本部女性消防隊は、前回大会に続き連覇となりました。



優良賞を受賞する館山市女性消防隊

館山市女性消防隊メンバー

氏 名	
隊 長	川名 まひろ
指 揮 者	井田 友海
1 番 員	伊東 恭子
2 番 員	松田 莉奈
3 番 員	花嶋 桃子
4 番 員	吉原 みさき
補 助 員	鈴木 有紀子



第25回全国女性消防操法大会成績表

成 績	都道府県	消 防 隊 名
優 勝	熊本県	八代市本部女性消防隊
準優勝	東京都	板橋消防団女性消防隊
	愛知県	刈谷市女性消防隊
優秀賞	山口県	和木町女性消防隊
	香川県	高松市女性消防隊
	岡山県	和気町女性消防隊
優良賞	広島県	福山市女性消防隊
	千葉県	館山市女性消防隊
	埼玉県	入間東部女性消防隊
	福岡県	久留米市女性消防隊
	宮崎県	日向市女性消防隊
	静岡県	富士宮市女性消防隊

女性消防操法大会優秀選手

	消防隊市区町村名	選手名
指 揮 者	熊本県八代市	邑上 由衣
	東京都板橋区	清水 成恵
1 番 員	埼玉県入間東部支部	狩野 淳子
	愛知県刈谷市	内山 麻邑
2 番 員	香川県高松市	本田 菖
	山口県和木町	宮本 ゆかり
3 番 員	熊本県八代市	那須 あゆみ
	愛知県刈谷市	中村 樹
4 番 員	熊本県八代市	篠原 典子
	愛知県刈谷市	近藤 色音

第59回 消防殉職者慰霊祭の開催

令和5年11月2日(木)に「第59回消防殉職者慰霊祭」が、千葉県及び公益財団法人日本消防協会の後援のもと、千葉県消防学校屋内訓練場において、御遺族、来賓、消防関係者など約400人の参列をいただいて、午前10時から厳粛に執り行われました。



この慰霊祭は、郷土防災の使命を果たしてその職に殉じた御霊を慰め、併せて消防士気の高揚と防災思想の普及を図るため毎年実施しているものです。

合祀されている殉職者は、消防組時代29柱、警防団時代11柱、消防(局)本部・消防団時代の50柱、そして消防協力者6柱、合わせて96柱となっています。

式典は芝岸消防協会副会長の開式のことばで始まり、慰霊碑に拝礼の後、国歌斉唱が行われ司会者の案内により消防殉職者96柱の御霊に対し参列者全員が黙とうを捧げました。

その後、石橋消防協会会長から、「私達消防人一同は、御霊の御遺訓を受け継ぎ、心新たに団結を強め、地域防災に力を尽くし、安全で安心な社会を実現するため精進努力することを誓います。」と式辞を述べられました。

次に穴澤千葉県副知事から、「皆様が身をもって示された崇高な志は、今もなお32,000の消防人に脈々と受け継がれるとともに、最愛の肉親を失われた御遺族の胸中にも大きな誇りとして生き続けていることと存じます。

県といたしましても、防災関係機関と一致団結し、決意を新たに防災対策の一層の充実に努めていくことを、皆様の前でお誓いいたします。」と追悼のことばが捧げられました。



石橋協会長の式辞



穴澤副知事の追悼のことば

その後、山本千葉県議会副議長、太田千葉都市長会副会長（いすみ市長）、岩田千葉県町村会長（東庄町長）から追悼のことばが捧げられ、御来賓の紹介と日本消防協会秋本会長からの追悼のメッセージが披露されました。続いて御遺族、来賓、消防関係者の方々から、消防殉職者慰霊碑に献花が行われました。



山本千葉県議会副議長の追悼のことば



太田千葉都市長会副会長の追悼のことば



岩田千葉県町村会長の追悼のことば



御遺族の献花

最後に、御遺族を代表して戸張政己様から「故人の在りし日の消防活動に励む姿を忘れず、地域防災に身をささげたことを大きな誇りにして、これからも、日々、力強く生きていく所存でございます。」とのお礼のことばと、石橋消防協会長からのお礼のことばが述べられ、安達消防協会副会長の閉式のことばにより、消防殉職者慰霊祭は終了しました。なお、今年の慰霊祭は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症へ移行に伴いコロナ禍前の規模で実施しました。



お礼のことば（戸張政己様）



令和5年度「全国女性防火クラブの集い」

千葉県女性防火クラブ連絡協議会 副会長 安藤 千枝

令和5年10月26日（木）、27日（金）の2日間にわたり、東京麹町のルポール麹町にて令和5年度「全国女性防火クラブの集い」及び「第22回応急手当普及啓発推進会議」が開催されました。

当日は、主催者、来賓の挨拶に続き、令和5年度一般財団法人日本防火・防災協会会長表彰も行われました。

基調講演では、東京大学先端科学技術研究センター教授の廣井 悠氏による「関東大震災100年とこれからの地震火災対策」と題する講演が行われました。

関東大震災の被害概要から現代都市の地震火災リスクを講話され、今後の地震火災の対策をお話しする等、とても充実した内容でした。

次に、総務省消防庁防災課長の笹野 健氏による「大規模災害に備える～女性防火クラブの活動の3つの意義～」と題する講演が行われました。

意義① 地域の皆様の「生命（いのち）」を守る活動であること

意義② 地域の皆様の「こころ（メンタル）」を守る活動であること

意義③ 地域の皆様の「明日（未来の暮らし）」を守る活動であること

の3つの意義を東日本大震災の被災者である女性防火クラブ員の体験話を交えながら、温かみのある声色で紹介して下さい引き込まれる講演でした。

次に、宣教落語家 小笠原 浩一氏（ゴスペル亭パウロ）による防災落語が講演されました。

「今、南海トラフ地震来たら、どないしょ？」

「それゴミやおまへんで、被災財でっせ。」

防災をテーマにした落語を披露して下さい、とても和やかな雰囲気になりました。

2日目の「第22回応急手当普及啓発推進会議」は、一般財団法人救急振興財団理事長の挨拶から始まり、令和5年度普通救命講習会実施状況について京都府と栃木県の各会長から報告がありました。

各クラブとも工夫しながらの活発な活動に力を頂きました。

最後の講演は、総務省消防庁救急企画室救急専門官 飯田龍洋氏による「救急業務の現状と課題」と題する講演が行われました。

救急搬送の現状を講話され、救急安心センター（#7119）やスマホアプリ（Q助）の紹介、応急手当の救命効果など多岐にわたる内容でした。

講演者と受講者の熱量にあふれる充実した2日間は、一般財団法人日本防火・防災協会理事長の挨拶によって終了いたしました。



(左)安藤副会長 (中)竹内会長
(右)佐々木副会長



秋本日本消防協会会長
(右から二人目)



原総務省消防庁長官
(右から二人目)

第28回全国女性消防団員活性化石川大会の開催

第28回全国女性消防団員活性化石川大会が令和5年11月16日(木)午前10時から、大会テーマ「ようこそ石川へ 百万石の花と咲け！ 輝く女性消防団」のもと「いしかわ総合スポーツセンター メインアリーナ」で開催されました。

原総務省消防庁長官、秋本日本消防協会会長及び鍋谷石川大会実行委員長の主催者挨拶、馳石川県知事、村山金沢市長の祝辞がありました。

初めに、大阪府女性消防団、山口市消防団大分市消防団等による、さまざまな活動発表が行われました。

午後から、お笑いタレントで日本消防協会の消防応援団として活躍中の山田邦子氏による「女性団員を含めた女性活躍社会」と題して馳知事と記念対談が行われた後秋田県大仙市消防団、東京都赤羽消防団による活動事例の発表と秋本会長がコーディネーターとなり、「女性消防団員の現状とこれから」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

本県からは、千葉市、習志野市、市原市船橋市、松戸市、柏市、浦安市、銚子市館山市、君津市の10消防団46名と石橋消防協会長と協会事務局2名が参加しました。



原邦彰総務省消防庁長官



千葉県参加者の皆さん



次回大会(とちぎ大会)へ向けて

わが町の消防団 ① 市川市消防団

千葉県北西部に位置する市川市は、東西に約8.2km、南北に約13.4km、面積は、56.39km²で現在、約49万人の市民が生活しております。北は松戸市、南は浦安市及び東京湾、東は船橋市及び鎌ヶ谷市に接し、西は江戸川を隔てて東京都江戸川区や葛飾区と相對しています。都心から20キロメートルの圏内に位置することから、文教・住宅都市として発展する一方、北部は梨栽培などの農業が盛んで緑も多く、南部は、東京湾に面し、京葉臨海北部地区石油コンビナート工業地帯の一翼を担っています。

現在、市川市消防団は1本部23箇分団、安達博消防団長以下321名(令和5年4月1日現在)の消防団員で活動しています。各分団には、ポンプ車又は小型ポンプ積載車が配備され、各種災害出動を始め、消防操法訓練を行っています。自治会等と協力した活動としては、地域の防火防犯パトロールや警戒も行っており地域防災力の充実強化の推進を図っています。



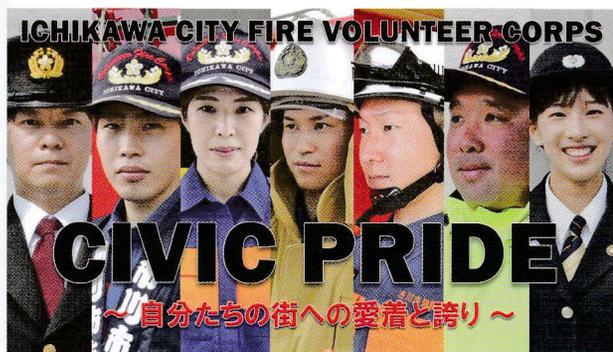
本年度は訓練やイベントなどコロナ禍前と同様に開催することができており、4年ぶりとなる市内消防操法大会も実施することができました。夏季には、台風や集中豪雨に備えるため、消防職団員が連携して実施した水防訓練、さらに大規模地震を想定した、非常参集訓練及び震災対応訓練を行い、日々多様化する災害対応に万全を期しています。



本市消防団は女性消防団員も所属しており、女性消防団員自らが作成した防災に関する紙芝居を、市内小学校から依頼を受け防災教育として読み聞かせや地域イベント等で披露するなどの啓発活動も行っています。

また、入団促進の一環として、自分たちの住む街・働く街・学ぶ街への愛着と誇りが込められているキャッチフレーズ「CIVIC PRIDE ～自分たちの街への愛着と誇り～」を策定しました。このキャッチフレーズが浸透することで、消防団とキャッチフレーズが結びつき、広報の持続的な展開ができると期待しています。

市川市消防団は「CIVIC PRIDE ～自分たちの街への愛着と誇り～」を合言葉にいつ発生するか分からない災害に立ち向かうため、日々の訓練を怠ることなく、地域住民の期待と信頼に応えられるよう安全で安心なまちづくりに努めてまいります。



わが町の消防団 ② 九十九里町消防団

九十九里町は、人口14,447人（令和5年9月1日現在）、面積は24.44km²で九十九里浜のほぼ中央に位置し、都心から60キロメートルの首都圏に属しています。

イワシ漁とともに栄えてきた九十九里町。全国を測量し、日本地図を完成させた「伊能忠敬」生誕の地でもあります。古来から気候温暖で、水と緑に囲まれた自然の恵み地として、多くの文人墨客（高村光太郎、竹久夢二、徳富蘆花など）が訪れており、夏には海水浴で賑わいを創出しております。

太平洋の恵をうける九十九里町は、新鮮な海の幸を味わえる町でもあり、特に、いわし、はまぐりは全国的にも有名であり、この味を求めて多くの方が来訪されています。

また、サーフィンをはじめとしたマリンスポーツやアクティビティなレジャースポットもあり、食、遊びを満喫できる町です。



さて、九十九里町消防団は、古川克俊団長以下275名（令和5年4月現在）で組織され、1本部、8分団19部で構成され、日夜地域住民の安全安心のため活動しています。

活動内容につきましては、各種災害対応、火災予防啓発活動をはじめ、日ごろから機械器具の点検、規律及び中継送水・放水訓練や操法訓練を行っています。

各部には、それぞれ消防ポンプ自動車（CD-1型）や小型動力付きポンプ積載車を1台配備し、町内で災害が発生した場合、迅速に現場まで駆けつけ、第一線で消火活動ができる体制を整備しています。

消防団員は全国的に減少傾向にあり、当町においても例外でないことから、消防団組織を維持、発展させるため、今後も継続して消防団員募集活動を行い、地域に密着した消防団として、あらゆる災害から地域住民を守り、地域から頼られる消防団として今後も活動してまいります。



東 西 南 北

踏切内から救出！人命救助者に対し感謝状を贈呈 習志野市消防本部

習志野市消防本部では、令和5年6月28日(水)に消防協力者に対し、感謝状贈呈式を行いました。

令和5年4月28日(金)15時頃、習志野市谷津5丁目の踏切で、80代の女性が転倒し踏切内に取り残される事案が発生しました。その際、仕事で近くを通りかかった男性が、自らの危険を顧みず遮断機の下りた踏切内から安全な場所へ救出したため、女性は転倒した際の軽傷のみで済みました。

この人命救助の功績に対し消防長から感謝状を贈呈したものです。



おもちゃ花火教室を開催 千葉市消防局

千葉市消防局では、令和5年7月11日(火)に千葉市若葉区の幼稚園において住宅防火指導と併せておもちゃ花火教室を開催しました。実際におもちゃ花火を使用して正しい楽しみ方を伝えることで、火災予防と火薬類の事故防止について啓発することができました。

平成29年度に火薬類取締法に係る事務・権限が都道府県から政令市に移譲されましたが、火薬類の事故の中で最も件数の多い「花火の事故」を減らすためには、幼少年の頃からおもちゃ花火の正しい使い方を知ることが大変重要となります。これからも、おもちゃ花火教室を通じて市民の安全・安心の確保に努めてまいります。



おもちゃ花火教室の風景

『交通事故発生！』交通救助事案対応研修を実施！ 柏市消防局

令和5年7月8日(土)、柏市消防局の特別救助隊員は、交通救助事案対応研修として、リバー株式会社ELV柏事業所の全面協力のもと、訓練用の車両を提供して頂き、交通救助事案対応研修を実施しました。

近年、車両の構造が複雑化しているため、交通救助にはより高度な技術や経験が必要となってきています。しかし交通救助件数は車両製造技術の向上により減少傾向にあり、現場経験が少ない若年層の救助隊員が増加しているのが現状です。そのため、現場経験の少ない救助隊員にとって、有意義な研修となりました。



東西南北 多数傷病者事故救急・救助訓練を実施 柏市消防局

柏市消防局では、例年約70人が集う「柏まつり」が4年ぶりに開催されることに伴い、7月25日にJR柏駅にて、韓国ソウルの繁華街・梨泰院（イテウォン）で発生した群衆事故を教訓とした、多数傷病者事故救急・救助訓練を実施しました。

訓練は、「柏まつり」終了後に帰宅を急いだ数人がJR柏駅臨時改札口の階段の上から足を滑らせ転倒、おりしも階段にはホームが混雑していたため一時留まっていた多くの利用客がおり、次々と将棋倒しが起こり多数の負傷者が発生した事故を想定とし、柏市消防団や柏警察、JR柏駅との連携と初動の対応について相互に確認することが出来ました。

今後も各機関との理解を深め、災害発生時において安全・迅速な活動に努めてまいります。

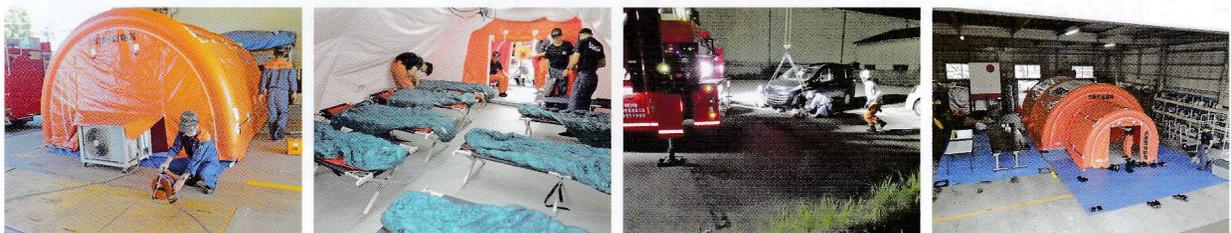


東西南北 庁舎を活用したエアートtent設営・宿営訓練を実施 市原市消防局

令和5年8月1日から4日間、姉崎消防署及び有秋分署の車庫内において、エアートtent設営・宿営訓練を実施しました。

実災害や訓練等でエアートtent設営に携わる機会が少なく限られていますが、全職員が有事の際に消防力を発揮できるよう、一丸となり訓練を行い災害対応能力の向上に努めました。エアートtentは大規模災害発生時に職員の生活を守る拠点となり、多数傷病者発生事案・CBRNE災害事案では傷病者のプライバシー保護の活用等に重要であることを再確認しました。

夜間は、宿営訓練中に災害派遣部隊として水害を想定した救助訓練や消防車両で管内の巡視等を実施しました。



東西南北 解体中の旧上下水道局を活用した救出訓練を実施 八千代市消防本部

八千代市消防本部では、令和5年8月16日（水）、17日（木）の2日間、解体中の旧上下水道局を使用し本市特別救助隊の救助技術の向上を目的とした「ブリーチング訓練」を実施しました。

訓練は「地震により倒壊した建物内に、要救助者が取り残されている。」との想定で実施し、厚さ400mmの床に対し開口部を設定した後、隊員が進入して要救助者を救出するまでの一連の流れを確認できました。

今後も訓練を継続して行き、救助技術の向上に努め、市民の安心・安全に努めてまいります。



東 西 火災調査研修(鑑識等の初動対応要領について)を実施 南 北

松戸市消防局

松戸市消防局では、令和5年8月22日、23日の2日間で69名の職員に対して、火災調査に伴う鑑識等の初動対応要領について研修を実施しました。

内容としては、鑑識等を実施するための平時の準備から、現場での関係者からの鑑識物件収去の説明及び必要書類の交付要領等について、座学と実技により実施しました。

松戸市消防局では、昨年の鑑識物件数が50件、一昨年が23件となっており、近年増加傾向にあります。増加していく鑑識件数に対して、職員が鑑識等の初動対応要領について理解することができ、有意義な研修となりました。

今後もより精度の高い火災調査を実施していけるように、職員一丸となって取り組んでいきます。



東 西 火災予防フェア2023を開催！ 南 北

流山市消防本部

流山市消防本部では、令和5年9月9日(土)、イトーヨーカドー流山店にご協力いただき、流山市防火安全協会とともに「ご家族みんなで体験できる火災予防」を目的に火災予防フェア2023を開催しました。

当日は、水消火器での初期消火体験や起震車での地震体験などの体験ブース、市内で起こった火災の写真パネル展示した「火事の写真集」や住宅用火災警報器及び住宅用消火器を展示した展示ブースを実施するなど、多くのお客さまにご来場いただき、火災予防に触れていただきました。

また、啓発用消耗品の配布や、流山市消防本部マスコットキャラクターの「おたかくん」とのふれあいをとおして、小さいお子さまにも楽しんでいただき、幅広い世代に火災予防の啓発が行えました。



東 西 火災防ぎょ活動時の不測の事態に備えて緊急対処訓練を実施 南 北

船橋市消防局

消火活動にあたる全隊員が不測の事態に備え、緊急対処技術を習得するため、令和5年8月1日(火)から3日間、船橋市消防訓練センターにおいて、在日米海軍統合消防局佐世保署から草場秀幸講師を招き火災性状や緊急対処技術についての講義後、訓練を実施しました。

この訓練により、消火活動時における隊員の負傷を想定し、自分自身の脱出方法や脱出不能となった場合の救助要請、バディ隊員等が負傷した場合の緊急的な救出技術を習得しました。

今後、このような技術を使うことがないように願いつつ、有事の際には迅速かつ適切に対応できるよう訓練を重ねます。



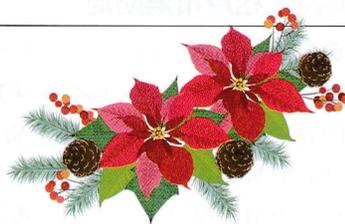
日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

令和5年12月

7・8日 令和5年度関東甲信地区消防協会事務局長会議(宇都宮市)

26日 千葉県消防協会臨時理事会(千葉市)



2023年度 全国統一防火標語
「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

令和5年 冬の交通安全運動

12月10日(日)から12月19日(火)

スローガン

～ 飲酒運転は絶対しない、させない、許さない ～

1. 飲酒運転の根絶
- 【運動重点】 2. 夕暮れ時と夜間の事故防止と安全運転意識の向上
3. 自転車等のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

<表紙の説明>

月の沙漠記念館（御宿町）夷隅支部

月の沙漠記念館は、詩人加藤まさををはじめ、御宿にゆかりのあった文人、画廊の作品の展示を目的として「月の沙漠」誕生の舞台となった御宿海岸付近に建設されています。

館内の1階には「ミュージアムショップ」や「ラウンジ」を加え、「企画展示室」が配置されており、御宿の足取りをたどることができます。

2階への階段を昇ると、「大正ロマンコーナー」を経て、「加藤まさを展示室」と続き、貴重な作品が展示されています。

外観は、王宮をイメージしたデザインで、白い砂浜からみた景色は、月の沙漠・御宿をより感じさせてくれます。

また、記念館前の広場では、多目的なイベントを開催するなど、通年で楽しむことができます。御宿町の魅力が詰まった、月の沙漠記念館へ訪れてみてはいかがでしょうか。

